

東日本大震災における経済界の被災者・被災地支援活動に関する報告書
- 経済界による共助の取り組み -
【第3編】「東日本大震災における被災者・被災地支援アンケート」
調査結果〔事例集〕(追補版)

2012年10月
(一社)日本経済団体連合会
社会貢献推進委員会
1%(ワンパーセント)クラブ

事例調査について

経団連ならびに1%クラブでは2012年5月~8月に、経団連会員企業、1%(ワンパーセント)クラブ法人会員などを対象に「2011年度社会貢献実績活動調査」を実施した。

その一環として、東日本大震災フォローアップ調査を行い、2011年10月の「東日本大震災における被災者・被災地支援アンケート」に引き続き、2011年10月以降に会員企業・グループが実施している支援活動事例(2011年10月以前からの継続案件を含む)を収集した。本調査結果については、基本的に別冊「東日本大震災関連フォローアップ調査 事例集」(2012年10月公表、経団連のHPに掲載)を参照願いたい。

URL...<http://www.keidanren.or.jp/policy/2012/070.html>

上記調査の回答事例のうち、2011年9月までに実施した事例について、2011年10月実施の「東日本大震災における被災者・被災地支援アンケート」()で収集した事案の追補版として別途掲載することとした。

なお、本事例の公表内容については、「2011年度社会貢献活動実績調査」の項目に準じている。

掲載事例数

了解を得た11社・14事例を掲載。

具体的な事例（個表）〔社名五十音順〕

(1) 社名公表事例

会社名	(株)アルプス技研							1001
事例名	社員ボランティアの派遣							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	仙台市、石巻市							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>社員ボランティアを派遣し、以下の活動に従事した。</p> <p>2011年4月の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県仙台市に社員6名を派遣し、泥かき・がれき除去等の作業を4日間実施 <p>2011年6月の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県石巻市を中心に13名を派遣し、泥かき・がれき除去等の作業を1日実施 宮城県石巻市で炊出し作業を4名で1日実施 宮城県石巻市で植樹を17名で1日実施 							
効果								
事例に関する連絡先	経営企画部 I R ・ 広報室							
会社名	安藤建設(株)							1002
事例名	第2回 気仙沼ボランティア活動							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	唐桑地区、階上地区、鹿折地区、大島地区							
プログラムの連携先	気仙沼市商工会議所、気仙沼市教育委員会、大島地区災害対策本部							
活動の概要	<p>社員参加のボランティア活動を実施した。</p> <p>期間：平成23年7月13日（水）～18日（月）</p> <p>参加者：安藤建設社員20名、関東学院大学ラグビー部23名（計）43名</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大島田尻浜の瓦礫撤去 子どもへのラグビー教室（唐桑、階上、鹿折、大島地区）参加児童291名 気仙沼向洋高校ラグビー部（校舎壊滅、近隣三校に分散）との交流。 							
効果	<p>大島でのボランティア活動は、地区に高く評価され、2012年度活動に継承されている。</p> <p>また、ラグビー教室は校長会で話題となり、2012年度の12小学校（気仙沼市全20校）での実施に継承された。</p> <p>ラグビー部との交流は、気仙沼向洋高校ラグビー部OB達による2012年度の活動に関し、いろいろな面での支援へつながっている。</p>							
事例に関する連絡先								

会社名	(株)奥村組					1003				
事例名	台風15号通過に伴う災害復旧支援									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	宮城県女川町									
プログラムの連携先										
活動の概要	被災地を台風が通過した際、土砂が道路へ流出した。そこで、重機を用い、この土砂を撤去した。									
効果	台風による被害を早期に復旧させることができた。									
事例に関する連絡先	管理本部人事総務部総務課									

会社名	川崎汽船(株)					1004				
事例名	義援金の寄付									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	当社グループは、被災者の救援・救済や被災地の復興に役立てていただくための支援金として、5千万円を日本赤十字社へ寄付した。 これに、役職員融資からの寄付金と国内外グループ会社独自の拠出額を合わせると、当社グループによる義援金総額は1億円を超えるものとなった。									
効果										
事例に関する連絡先	総務グループ CSR・コンプライアンス推進室									

会社名	川崎汽船(株)					1005				
事例名	冷凍コンテナの寄贈									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	大船渡市、宮古市、気仙沼市			
プログラムの連携先				
活動の概要	東北漁業早期再開支援プロジェクト「希望の烽火」に協力して、8月に気仙沼市および宮古市の水産関連業者に20フィート冷凍コンテナ5本を贈与した(気仙沼市4本、宮古市1本)。また、9月には大船渡市に当社所有の20フィート冷凍コンテナ5本を無償提供、同市内水産加工事業所4カ所に設置した。			
効果	保冷施設は水産業の再開には欠かせないものであり、当社が提供した冷凍コンテナは、津波で流出したり破壊された保冷倉庫の代替として、水産加工業者の方々に活用していただいている。			
事例に関する連絡先	総務グループ CSR・コンプライアンス推進室			

会社名	総合メディカル(株)				1006			
事例名	仮設薬局による運営再開							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	岩手県陸前高田市							
プログラムの連携先	県立高田病院							
活動の概要	3月11日の津波により、弊社の調剤薬局店舗「高田店」は店舗ごと流されたが、幸い社員は全員無事で、人的被害は発生しなかった。応需先である県立高田病院は、3月15日から米崎町のコミュニティーセンター内に診療所を仮設し、診療を開始したため、当社としても関連取引先と調整を図り仮設薬局を開局した。そして社内の各方面から薬剤師を交替で派遣し運営を果たした。津波当日、高田店の薬局長が危機に直面しながら、患者データが入ったDVDを間一髪で持出したことで、そのデータが大いに役に立った。							
効果	震災前の高田店は月間平均1,500枚(1日平均75枚)の処方せんを応需していたが、震災後の本仮設薬局においては急激に増加し、4月は2,700枚の処方せんを応需し、1日200枚を超える日もあり、被災地にあって無くてならない仮設の薬局となり、弊社の理念である「価値ある薬局」を実践した。これは自身も被災しているにも関わらず、患者のために不眠不休で対応した店舗スタッフや、医療機関、取引先等多くの支援があったからこそと深く感謝している。							
事例に関する連絡先	総務部							

会社名	総合メディカル(株)				1007			
事例名	薬剤師ボランティアの派遣							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	宮城県本吉郡南三陸町志津川							
プログラムの連携先	医療ボランティア							

活動の概要	<p>震災後、3月26日～27日の2日間、志津川への医療ボランティア活動に弊社社員（薬剤師1名：女子社員）が参加した。概要は以下のとおり。</p> <p>現場は、町全体が壊滅。水道・電気・ガスなど全て復旧していない状況。</p> <p>避難場所となっているアリーナ、学校、公民館など5カ所をまわり、各場所で小児を中心に診療活動をしたが、水も自由には使えず衛生面で苦慮。初日は小学校の教室で寝袋にて就寝。</p> <p>翌日、医療ボランティア活動スタッフとのミーティングに参加。ほとんどが医師とナースによるチーム編成で薬剤師は少数であった。又、スタッフの中には津波で父親を亡くされたにもかかわらず、避難初日から休み無く勤務されている方もおられた。</p> <p>午前中は志津川小学校に設置された医務室にて薬剤師業務。午後から3カ所のい避難所を回り、最後の診察をして帰宅。</p> <p>このボランティア活動を通じ、本人から次のようなコメントが寄せられた。（要約）</p> <p>「被災地の廃墟と化した状況を目の当たりに見て、自分自身に何が出来るのか、実際にボランティア活動で頑張っている人達の姿を見たとき無関心ではいられません。当たり前だが『助けてあげる』ではなく『助け合う』気持ちが大変だと感じた。今後も人間として医療人としての社会的使命を果たして行きたい」</p>
効果	彼女の活動は、同年4月の弊社新入社員導入研修の際、コンプライアンス担当部署が紹介した。当社の社是・社訓、CSRおよびコンプライアンスの実体験談として新入社員への良き手本となり、全員が感銘した。また、社内報にも掲載し全社員が当社社員としての使命感や思いやりの心について再認識させられた。
事例に関する連絡先	総務部

会社名	(株)中国銀行				1008			
事例名	NPO法人AMDAへの支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県大槌町							
プログラムの連携先	NPO法人AMDA							
活動の概要	岩手県大槌町では、津波被害・ガレキ撤去後、住民が集まれる公民館的施設が失われており、早い段階で、医療コミュニティハウスという名目で、住民が集い集まれる建物を建設した。その建設資金の一部を当行が寄付した。							
効果	<p>NPO・NGOの活動に当行は資金援助しただけであるが、以下の効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO・NGOは知名度、信用力不足に悩んでいるところが多い。世間で信用力ある大企業が寄付先として選び公開することで、NPO・NGOの信用力がアップし、初対面の団体、地公体と話す際、信頼を得やすいなど、非金銭面の支援にもなっている模様である。 ・広い被災地域全てで具体的な支援をすることは、営業拠点がない企業には難しい。実際に特定の被災地で活動しているNGOの活動を支援することで、支援が具体化出来た。 ・本震災を通じてNPO・NGOとの交流が親密化した。NPO・NGOを通じて現地でのマイクロファイナンスの相談があるなど、本業の知識を提供するプロボノ支援という支援手段に道が開いた。 							
事例に関する連絡先	広報CSRセンター							

会社名	日立電線(株)				1009			
事例名	日立地区グループ会社、日立アロイ(株)による東日本大震災 復興支援活動 (がれき受け入れ・給水活動・物資提供)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	茨城県日立市			
プログラムの連携先				
活動の概要	日立電線(株)日高工場グラウンドを、震災がれきの一時受け入れ場所として提供した。また、日高工場にて、給水活動を実施した。 さらに、日立アロイ(株)が、双葉町住民避難先に物資を提供した。			
効果				
事例に関する連絡先	C S R 推進室			

会社名	菱洋エレクトロ(株)				1010			
事例名	ハイブリッドLEDシステムの活用							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先	(株)ティ・エム・エフ・アース							
活動の概要	宮城県漁業協同組合表浜支所は、東日本大震災以降電力供給が不安定で、非常用発電機あるいは太陽光発電を用いて復興活動に必要な「照明」や「PC」の電力を確保していたが、従来の照明器具は消費電力が大きく、照明による「電力不足」がPC等の利用を大きく制限してしまうほか、十分な明るさを確保することも困難な状況であった。 表浜支所では、当社の展開するスーパーリフレクタ(特殊反射板)を使用したハイブリッドLED照明システムを導入したことにより被災地での非常用発電や太陽光発電等という限られた電力で、漁協施設内の照明を賄うことが可能となった。							
効果	当社の展開したハイブリッドLED照明システムの導入により消費電力を大幅に削減し、非常用発電や太陽光発電等の限られた電力で施設内の照明を賄うことが可能となり、漁協の皆様からも好評をいただいた。 また、当社のこの取り組みは、環境省主催の「省エネ・照明デザインアワード2011」において審査員特別賞を受賞した。							
事例に関する連絡先	経営戦略室 広報部							

(2) 社名非公表事例

会社名					1011			
事例名	グループ企業による東日本大震災復興ボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	石巻市							

プログラムの連携先	ピースボート
活動の概要	社員企画による被災地でのボランティア活動を実施した。 全国から参加者を募り、3日間のボランティア活動として、津波で被災し基礎のみとなってしまった家屋の瓦礫撤去・土だし作業などを、参加者全員で協力し実施完了させた。
効果	
事例に関する連絡先	

会社名									1012
事例名	義援金・生活物資の寄付								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先									
活動の概要	新聞社・商工会議所を通して義援金を寄付した。また、従業員から遊休となっている生活用品を被災地へ寄付した。								
効果									
事例に関する連絡先									

会社名									1013
事例名	グループ企業によるネットワークシステムの診断・修理サービス、データセンターのハウジングサービス								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	茨城県内の自治体、茨城県外の被災地のお客様								
プログラムの連携先									
活動の概要	東日本大震災の被災地支援や、震災後の電力不足に対応する省エネルギー活動の支援を目的に、当社グループの技術やサービスは無償または特別価格で提供した。 東日本大震災後、被災地にある自治体や企業等では、建物の倒壊や設備の損傷など甚大な被害が発生し、システムの診断や機器の修理、システムを安定的に運用する設備の確保が必要となった。そこで、情報ネットワークインテグレーション事業を手がけるグループ企業では、被災地復興支援プログラム「がんばろう！日本」と題し、ネットワークシステムの診断・修理サービスや、データセンターのハウジングサービスを無償または、特別価格で提供するサービスを2011年4月6日から2011年6月30日までの期間限定で実施した。								
効果									
事例に関する連絡先									

会社名											1014
事例名	自治体と共同の就業支援活動など										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他			
具体的地域											
プログラムの連携先											
活動の概要	<p>当社工場のある自治体が市内の100世帯分の民間賃貸物件を2年間家賃無償とする入居支援を行ったのをうけ、希望者を期間従業員として雇用し、生活再建への住居と就労を支援した。</p> <p>また、同自治体に対しては、被災地への物資運搬に使う公用車向けに当社の事業所内で社用車として使用していた軽トラック10台を無償貸与し、合わせて、安全靴、作業着、シート、ロープなどの物資を提供した。車両と物資は当社事業所に勤務する社員などの運転により現地に届けた。自治体からも乗用車の青パト（青色回転灯装備車）20台が無償貸与され、当社の車両、物資と共に現地に届けられた。</p> <p>これらは、以前から被災地と交流があった団体からの協力要請に、自治体と当社が応えたものである。</p>										
効果											
事例に関する連絡先											

以上